

# のびのび 田底っ子

第20号

文責：校長 益永 一幸

## 火災避難訓練 ～真剣に放送を聞く習慣・安全な避難方法を学ぶ～



10日（火）に火災避難訓練をしました。給食室からの火災発生を想定し、体育館への安全な避難方法について実施検証する訓練でした。当日の朝に各学級で事前指導をしており、訓練時は安全な避難の合言葉「おかしも」をしっかり守って避難できていました。合格です。

火災や地震などの災害はいつ起こるか分かりません。非常時には放送で「火災発生場所」「避難場所」が知らされます。日頃から、放送をしっかり聴く習慣を身に付けていく大切さも学びました。また、非常時にはパニックになりがちです。普段から危なさそうな場所を確認し、どう行動すればいいかを考える習慣も身に付けておくと、いざという時に落ち着いた安全な行動がとれるのではないかと思います。

### ★ 東日本大震災 防災講話 ★

宮城県石巻市立大川小学校



名前 佐藤敏朗

- 元中学校教員
- 小学校6年生のみずほさんを亡くされる。
- 「未来を拓く」ために語り継ぐ。

# 51分

14:46〈地震発生〉から  
15:37〈津波到達〉までの時間

体験・失敗



## 自分で判断する力

3年担任の和久田先生は夏休み期間中に、宮城県の「3.11 被災地視察研修」に行き、多くの犠牲を出した「石巻市立大川小学校」での負の遺産を肌で感じ防災教育の必要性について学びました。その学びを始業式の日子どもたちに分かりやすく伝えていただきました。津波被害の様子だけでなく、いつ何があっても「命を守る」判断と行動ができる力（危険予測能力・危険回避能力）をつけることの必要性を語っていただきました。その力をつける避難訓練は大切な行事です。